

10. 剰余類(合同式)

代数 I

合同式

$$a \equiv b \pmod{m}$$

$\Leftrightarrow a - b$ が m の倍数である $\Leftrightarrow m \mid a - b$

$\Leftrightarrow a$ を m で割った余り = b を m で割った余り

$\Leftrightarrow a$ と b は法 m で合同である

合同式の法則

n を1より大きい整数とする. このとき, 任意の整数 a, b, c, d について, 次のことが成り立つ

(1)反射律 $a \equiv a \pmod{m}$

(2)対称律 $a \equiv b \pmod{m}$ ならば, $b \equiv a \pmod{m}$

(3)推移律 $a \equiv b \pmod{m}$ かつ $b \equiv c \pmod{m}$ ならば $a \equiv c \pmod{m}$

(4) $a \equiv b \pmod{m}$ かつ $c \equiv d \pmod{m}$ ならば

$$a \pm c \equiv b \pm d \pmod{m}, \quad a \cdot c \equiv b \cdot d \pmod{m}$$

定理

n を1より大きい整数とする. このとき,
任意の整数 m, a, b に
ついて $d = (m, n), n = n'd, m = m'd$ とおくとき,
次のことが成り立つ.

$$ma \equiv mb \pmod{n} \Leftrightarrow a \equiv b \pmod{n'}$$

特に, $(m, n) = 1$ のとき,

$$ma \equiv mb \pmod{n} \Leftrightarrow a \equiv b \pmod{n}$$

定理

a, b を整数, m, n を1より大きい整数とする.

$(m, n) = 1$ であれば, 次式が成り立つ.

$$a \equiv b \pmod{m}, a \equiv b \pmod{n} \Leftrightarrow a \equiv b \pmod{mn}$$

合同式の解の存在定理

$(a, n) = 1$ ならば, $ax \equiv b \pmod{n}$ を満足する整数解 x が存在し, n を法として唯1つである

$ax \equiv b \pmod{n}$ が解を持つための必要十分条件は $(a, n) | b$ となることである.

合同方程式 $ax \equiv b \pmod{n}$ が解を持ち $(a, n) = d > 1$ であるならば, 解の個数は n を法として d 個である

例題

次の合同式を解こう

$$(1) 3x \equiv 1 \pmod{5}$$

ヒント： x の係数3が1になったら， x の式になる

$$(2) 8x \equiv 5 \pmod{12}$$

$$(3) 3x^2 - x \equiv 2 \pmod{7}$$

ヒント： 因数分解をして考える

中国剰余定理(ユークリッドの互除法)

2つの正整数 $a, b(a < b)$ において, 大きい数 b から小さい数 a を引いて
 $(a, b) = (a, b - a)$

2つの正整数 $a, b(a < b)$ において, 大きい数 b を数 a で整除して
 $b = qa + r$
 $(a, b) = (a, r)$

$$(527, 901) = 17$$

$$\begin{array}{r} 4 \quad 2 \quad 2 \quad 1 \quad 1 \\ 17 \overline{)68} \overline{)153} \overline{)374} \overline{)527} \overline{)901} \\ \underline{68} \quad \underline{136} \quad \underline{306} \quad \underline{374} \quad \underline{527} \\ 0 \quad 17 \quad 68 \quad 153 \quad 374 \end{array}$$

剰余類の定義と定理

a を任意の整数とするとき、

$$C_a = \{x \in \mathbb{Z} \mid x \equiv a \pmod{n}\} = a + n\mathbb{Z} = \{a + nt \mid t \in \mathbb{Z}\}$$

n を法とする a の剰余類という。

また、 n を法とする剰余類の集合を \mathbb{Z}_n で表す。

$$\text{すなわち、} \mathbb{Z}_n = \{C_a \mid a \in \mathbb{Z}\}$$

n を1より大きい整数、 a, b を任意の整数とするとき、

$$a \equiv b \pmod{n} \Leftrightarrow C_a = C_b$$

剰余類の性質

C_a を n を法とする a の剰余類を表すものとする.

このとき, 次のことが成り立つ.

$$(1) a = C_a$$

$$(2) C_a \cap C_b \neq \emptyset \Leftrightarrow C_a = C_b$$

(3) Z_n は相異なる n 個の元 C_0, C_1, \dots, C_{n-1} から構成される.

$$Z_n = \{C_0, C_1, \dots, C_{n-1}\}, C_i \cap C_j = \emptyset (i \neq j)$$

また, このとき $Z = C_0 \cup C_1 \cup \dots \cup C_{n-1}$ となっている